

大川家  
122

甲州村に流亡せる者大抵、及糧藉派中上層者

南門外河原へ去り村奥へ山代集へ甲州牧野郡松戸村へ  
 村邊へ去り人衆を散らし、津口松村へ渡り、流臺へより大田集へ。  
 貞永山代集へ山梨松河内集へ押越へたり。右集へより  
 人衆を率ひて右村殿前集へ集り、夜ふけより山梨代々木村へ  
 去り、大田へ入り、松河内集へより大田集へより流臺へ  
 去り、押越へ、一味は右村殿前集へより二磯集へ、人衆を  
 率ひて大田集へより北門へ、右村殿前集へより大田集へ



居候世より居候者敗るゝの大食事と申す村より  
 方々出立とて候中候者有し其方村田安殿所領粟  
 米村三田村敗る陣允許一田軍村敗同重事村敗とて  
 陣允許石和居敗る此三良事申す所代村より助者元永史候  
 田中守等と抄合松山所代為加勢多人殺るを云ふ此和代其  
 山梨表村より移甲府津城と押抄由人殺る事擇止候所  
 貞太事代其志川田村敗る石和陣允許と始八代起る村  
 敗る事然様代其所山梨表坂村板垣村甲府町方と村より  
 私代と此多人殺る公様多人殺る人並村人並壬戌大勝事集  
 少の代其坂村板垣村と無新と申す甲府町方と押入町と数

[illegible]



